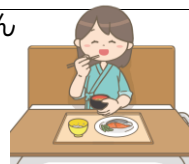


血管内治療(カテーテル治療)を受ける患者さんへ(腕から穿刺の方)



患者名	様	主治医	担当看護師	
経過	入院日(治療前日)	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	治療後1日目(退院)
日付	/	/	/	/
患者の達成目標	- 治療の準備ができる - 治療について理解できる		- 体温、脈拍、血圧が安定している - 穿刺部の出血、痛み、腫れがない	- 退院後の生活について理解できる - 穿刺部の出血、痛み、腫れがない
治療処置		- 血管造影室入室前までに点滴をします - 治療開始2時間前に、穿刺部位に局所麻酔用のテープを貼ります	治療終了後、血流検査があります	朝9時から医師の診察があります
薬剤	- 普段使っている飲み薬、塗り薬、貼り薬、水薬、目薬を確認します(病院で同じものをすぐに用意できない場合があります) - 抗凝固薬は、別途説明します 	治療前の血糖降下剤、インスリンがあれば中止ですが、他のお薬は通常通り内服可です(抗凝固薬は、別途説明します)	帰室後より内服薬はすべて再開です(抗凝固薬の再開は、別途説明します)	制限はありません
食事	- 病院食がでます - 既往に糖尿病がある方は、間食はできません	- 午前(12時まで)の治療の場合は、朝食はありません - 午後(12時から)の治療の場合は、昼食はありませんが、少量の水分は可です	帰室後より水分、食事すべて再開です	制限はありません 
安静・活動	制限ありません(足壊疽、潰瘍がある場合は、原則治療する方の足は、下につくことはできませんので、移動は基本車いすです)	血管造影室に入室する時は、車椅子で行きます(血管造影室の台が2段程度あるため、台を上がることが難しい場合は、ストレッチャーで案内します)	- 穿刺部に止血バンドを装着します。 - 帰室後から病棟内を自由に動くことができます (穿刺部位が、足の付け根に変更になった場合の安静度などは、治療後に説明します)	制限はありません(足壊疽、潰瘍がある場合は、原則治療する方の足は、下につくことはできませんので、移動は基本車いすです)
排泄	制限はありません	病棟で尿管を入れます		トイレまで移動が可能であれば、尿管を抜きます
清潔	シャワー浴できます	シャワー浴できません(必要があれば体拭きができます)		シャワー浴できます
患者家族への説明	- 治療の同意書にサインをいただきます - 治療へ行く時は、貴重品は家族へ預けて下さい - 不安なこと聞きたいことがあればお知らせ下さい - 転倒、転落に注意して下さい(退院まで)		穿刺部の出血、痛み、腫れがあればお知らせ下さい	〈退院時指導〉 - 正座、あぐらは生涯禁止です - しっかり歩きましょう - 足に傷を作らないようにしましょう - 毎日、足を洗い、保湿をしましょう

※ この予定表はあくまでもおおよその目安です。個々の身体能力、体調等により経過は様々です。

※ ご不明な点はお気軽にスタッフにおたずねください。

2026年2月 作成